

## 夷隅合同庁舎の供用開始について

令和6年7月11日  
総務部資産経営課  
043-223-2077  
総務部総務課  
043-223-2049

県では、地域の防災施設となる合同庁舎の機能強化を進めており、このたび、新しい夷隅合同庁舎が本年3月に完成し、9月2日から供用開始します。

新しい合同庁舎は、地域の防災活動拠点として必要となる会議スペースの確保や、非常用発電設備の設置、庁舎から離れていた防災備蓄倉庫の同一敷地への移転など、防災機能の強化を図ったほか、蓄電池を備えた太陽光発電設備を設置するなど、環境負荷の低減等にも配慮した施設となっています。



全 景

## 《建物の特徴》

**防災対策**

防災活動拠点としての機能を確保するため、複数の会議室を可動間仕切りとし、非常時には災害対策本部の支部として一体的な利用を可能とするほか、72時間連続運転が可能な非常用発電設備、マンホールトイレが設営できる専用の排水設備などを設置しています。

また、災害に備えた必要な物資を備蓄する防災備蓄倉庫を敷地内に併設しています。

**環境対策**

平時における省エネルギー対策に加え、停電時においても電力供給を維持可能にするため、蓄電池を備えた太陽光発電設備を設置しています。

また、外壁や窓の断熱性能を高めるとともに、自然採光を生かした執務室の配置や空調・換気設備機器の高効率化など、環境負荷の低減に配慮しています。



防災備蓄倉庫



太陽光パネル

(参考)

### 《位置図》 合同庁舎と防災備蓄倉庫を集約



### 《新庁舎の概要》

所在地：夷隅郡大多喜町猿稻472-2（城見ヶ丘駅より徒歩約7分）

事業費：約13億5千万円

工期：令和4年12月20日～令和6年3月15日

敷地面積：5,788 m<sup>2</sup>

延床面積：事務所棟：1,615 m<sup>2</sup>（2階建て）鉄筋コンクリート造

車庫・倉庫棟：436 m<sup>2</sup>（2階建て）鉄骨造

防災備蓄倉庫：435 m<sup>2</sup>（2階建て）鉄骨造

職員数：約70名

業務開始：令和6年9月2日

入居機関

2階	夷隅地域振興事務所、夷隅土木事務所大多喜出張所
1階	茂原県税事務所大多喜支所、夷隅農業事務所、東上総教育事務所夷隅分室

### 《オープニングセレモニー》

令和6年8月29日（木）14時30分から

※一般の方はご参加いただけません。

なお、当日の取材については、別途ご案内します。

※現在整備中の合同庁舎

安房地域、海匝地域